

《水泳競技 申込参考資料》

《この資料を見ながら、申込書の記入をお願いします。》

●障害区分について <注> 肢体1=切断・機能障害 肢体2=脳原性麻痺以外の車いす常用 肢体3=脳原性麻痺（脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等）

肢体1	1	多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	肢体3	13	片側障害で片上肢機能全廃 ※片側の上半身のみで泳ぐもの	
	2	両上肢切断または、両上肢完全、片前腕および片上腕切断、 片上肢および片下肢切断、片上肢および片下肢不完全 片上肢および片下肢完全または不完全		14	片側障害 ※両上肢を使って泳ぐもの	
	3	両前腕切断または、両上肢不完全、 両大腿切断または、両下肢不完全、片下腿および片大腿切断		15	その他	
	4	片上腕切断または、片上肢完全 両下腿切断または、両下肢不完全	肢体4	16	浮具使用	
	5	片前腕切断または、片上肢不完全 片大腿切断または、片下肢完全		視覚	17	視力0から0.01まで※
	6	手部切断、 片下腿切断または、片下肢不完全	18		その他の視覚障害	
	7	体幹または低身長	聴覚	19	聴覚障害 *平衡機能障害、音声・言語機能障害、そしゃく障害も含む	
肢体2	8	頸髄損傷		知的	20	ダウン症
	9	下肢麻痺で座位バランスなし			21	その他の知的障害
	10	下肢麻痺で座位バランスあり	内部	22	内部障害	
肢体3	11	四肢麻痺（車いす常用）または、上肢に著しい不随意運動を伴うもの		精神	23	精神障害
	12	両下肢麻痺または、上肢に軽度の不随意運動を伴うもの				

※1 良い方の視力で判定する。指数弁～光覚弁については、次の視力として換算する。指数弁は「0.01」、手動弁～光覚弁は「0」として判定する。視力は、手帳と同様に矯正視力で判定を行う。

※2 障害区分17は光を通さないゴーグルを装着する。

※3 スタート方法は、障害区分に関係なく、選手が、水中スタートまたは飛び込みスタートを選択することができる。

●特記事項について

1	なし	希望する特記事項はなし
2	ス	スタート時に競技役員（補助員を含む）による介助を希望する【付添者は競技場に入場できません】
3	ス許	スタート時に許可された者による介助を希望する【付添者が介助をしてください】
4	介	入退水時に競技役員（補助員含む）による介助を希望する【付添者は競技場に入場できません】
5	介許	入退水時に許可された者による介助を希望する【付添者が介助してください】
6	棒	障害区分17・18の者で、ターン及びゴール時に競技役員（補助員含む）による合図棒等でのタッピングを希望する【付添者は競技場に入場できません】
7	棒許	障害区分17・18の者で、ターン及びゴール時に許可された者による合図棒等でのタッピングを希望する【付添者がタッピングをしてください】
8	手	聴覚・音声・言語等に障害のある者で、手話通訳を希望する
9	同	特段の理由があり、競技エリアに同伴者の入場を希望する【必ず入場の理由を記載してください】

※スタート介助、入退水介助、タッピング等を競技役員に依頼する場合は、選手側の責任のもとで行うこととし、介助内容を事前に打ち合わせること

※許可を得て、付添者が選手と同行する場合は、必ずピブスを着用のごと（申込書の特記事項に記入の上、ピブスは競技会場で受け取る）

●特記事項の記号と同伴の付き添いが許可されている場所 早見表

	招集所		プールサイド		スタート・ゴール (水中)		スタート・ゴール (プールサイド)		表彰所	
	役員	付添者	役員	付添者	役員	付添者	役員	付添者	役員	付添者
ス (役員)	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
ス許	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
介 (役員)	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
介許	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
棒 (役員)	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
棒許	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
同	×	◎	×	◎	×	×	×	◎	×	◎

●エントリー種目について

本大会は性別・年齢区分・障害区分を問わず、ひとり2種目まで25m及び50mの種目にエントリーできます。
なお、リレー種目は、この2種目以外にエントリーすることができます。

◎：特記事項に「同」の記載がある選手は、必ず介護者が付き添ってください。